

「介護相談窓口 通信」 2019年6月号

※豆知識(認知症について①)※

最近、相談窓口にも認知症のことについてご相談を頂くことが多いです。今回は、その認知症についてお話しします。

認知症は、高齢になればなるほど発症する危険は高まります。認知症は特別な人になる病気ではなく、歳をとれば誰にでも起こりうる、身近な病気と言えます。

厚生労働省の発表では、2025年には、65歳以上の高齢者の5人に1人は認知症になると言われています。しかも、この数字は認知症と診断を受けた人の数ですから、予備軍や診断を受けていない人も含めるともっと数が多くなります。

自分の親は大丈夫だろう、自分は認知症にならないだろう...というのは現実的ではありません。早くから情報を集め備えておく必要があります。次回の通信もその「認知症について」お話しします。

介護相談窓口では、認知症に関する資料なども用意しております。

必要なものはコピーしてお渡ししておりますので、どうぞご利用下さい。 【介護アドバイザー 湯浅美佐子】

大阪市立大学、大阪教育大学、和歌山大学、積水ハウス株式会社が共同で
「介護相談窓口」開設！

場 所:大阪市立大学杉本キャンパス 1号館1階
女性研究者支援室(研究支援課分室)
(大阪市住吉区杉本3-3-138)

利用対象:連携機関の研究者、大学院生等

メール:f-soudan@ado.osaka-cu.ac.jp

電話:06-6605-3455

相談窓口HP:<http://www.wlb.osaka-cu.ac.jp/effort/assistance-service/>

※個別の相談には予約が必要です。まずはお電話またはメールにて
お問合せ・ご予約ください。相談は面談やお電話、メールで対応します。

介護相談室利用可能日

時間:各日10:00~16:00

2019年

6月14日(金)、6月21日(金)

7月5日(金)、7月19日(金)

8月2日(金) 8月23日(金)